



(城崎)

兵庫・見蔵岡遺跡

みくらおか

所在地 兵庫県城崎郡竹野町竹野字入谷ほか

2 調査期間 一九九四年（平6）四月～二月

3 発掘機関 竹野町教育委員会

4 調査担当者 松井敬代

5 遺跡の種類 屋敷跡

6 遺跡の年代 縄文時代中期末～三世紀

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

見蔵岡遺跡は兵庫県の最北端、猫崎半島のつけ根から南方約一kmに位置している。このあたりは旧但馬国美含郡竹野郷に属する。遺

跡は、竹野川の右岸にあたる字竹野・松本にまたがり、南西に開口する谷および丘陵先端に立地する。標高は五～一〇m前後を測る。

調査は、昨年度より引き続き行ない、ほぼ終了した。

8 木簡の釈文・内容

- (1) . 「□□」
- . 「□□□」

93×23×16 065

屋敷地を区画する遺構は検出していないが、約三一〇〇m²の平坦面で一〇棟、六期にわたる建物群の変遷が認められた。屋敷は主屋と複数の付属屋とから成り立っており、その敷地内に屋敷墓と井戸、土坑などの遺構を検出した。遺構の概要是、昨年度の調査報告（本文誌第一六号）を参照願いたい。

遺物の出土量はあまり多くなく、整理用コンテナに約五〇箱である。土器類では、土師器杯・皿・鍋、瓦質甕・火舍、黒色土器A類、東播系須恵器片口鉢、備前焼摺鉢、中国製青磁碗・皿、白磁片などが出土している。木製品の遺存が良好で、木簡のほか建築部材・下駄・横櫛・円板状木製品・漆椀・漆塗り容器などがある。その他の遺物には、土壙墓からまとまって出土した宋錢のほか、刀子・鉄釘・土錘などがある。

木簡は、今年度の調査で四点出土した。(1)は柱穴の埋土内から出土した。昨年度報告した付札木簡と同一の建物の別の柱穴である。(2)は隅丸方形の土坑内中層、礎の直下から、(3)(4)はそれぞれ木組井戸・石組井戸の最下層から出土した。

(2) 「咄天カ」 (符籙) □□如律令」

・「井」

283×34×5.5 051

渡辺晃宏両氏の教示を得た。

(松井敬代)

(3)

「▽□

(4)

□□

(521)×(22)×4.5 081

(1)は、円柱を半截し下端を尖らせたもので、両面に墨痕が認められるが、文字は解読できない。(2)は呪符木簡で、片面に「井」の文字がある。ややいびつだが上端は圭頭状に、下端は尖らせている。

漆椀などとともに出土しており、投棄されたものと考えられる。(3)は斎串状の木札に文字を書き、半截して左半分を残したものである。

「牛」偏の文字が書かれていたのであろうか。(4)は二文字以上が認められるが、判読はできない。当遺跡では、前年度出土分と合わせて五点の木簡の出土をみた。

なお、木簡の釈読に際しては、奈良国立文化財研究所寺崎保広・

